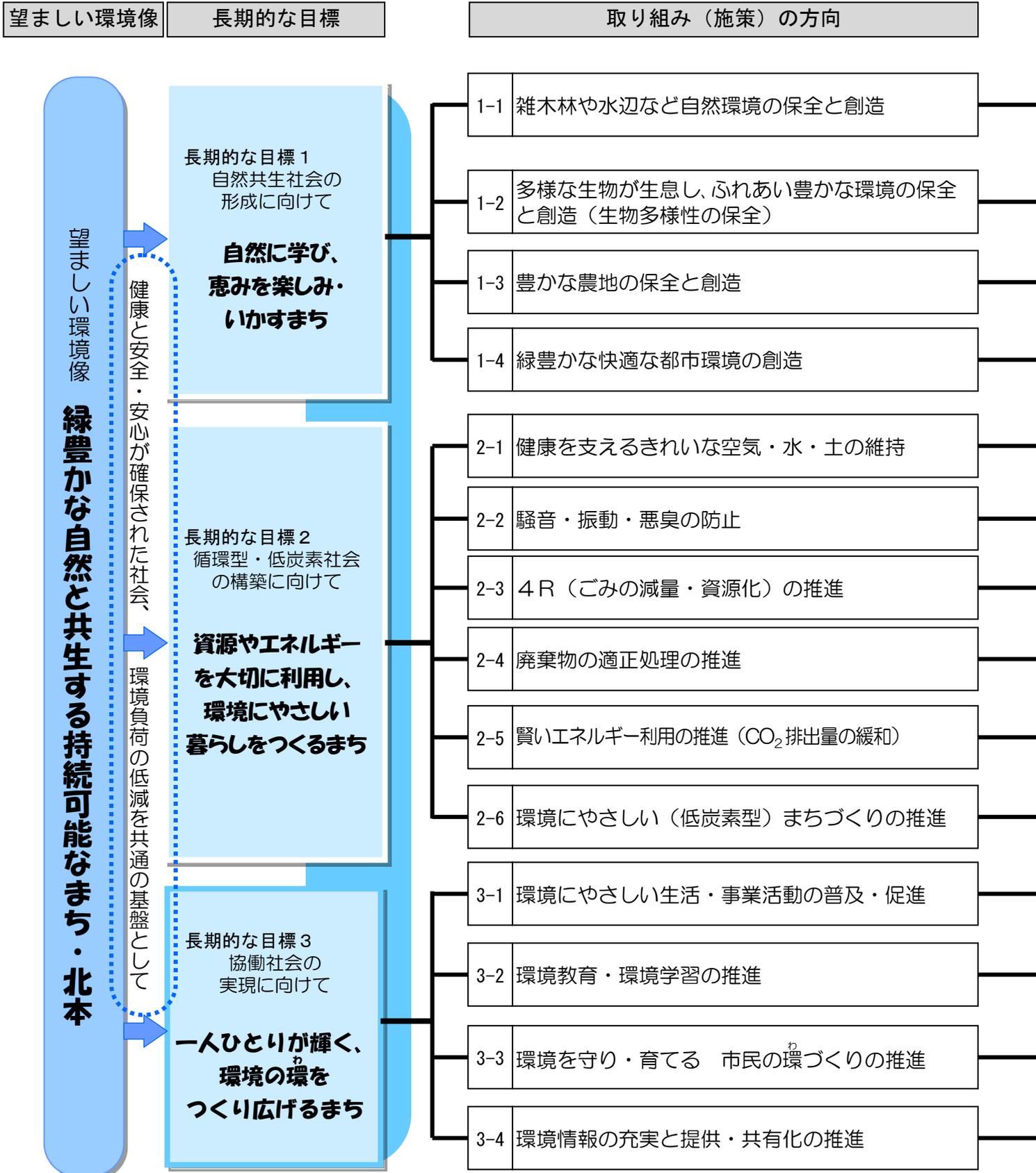
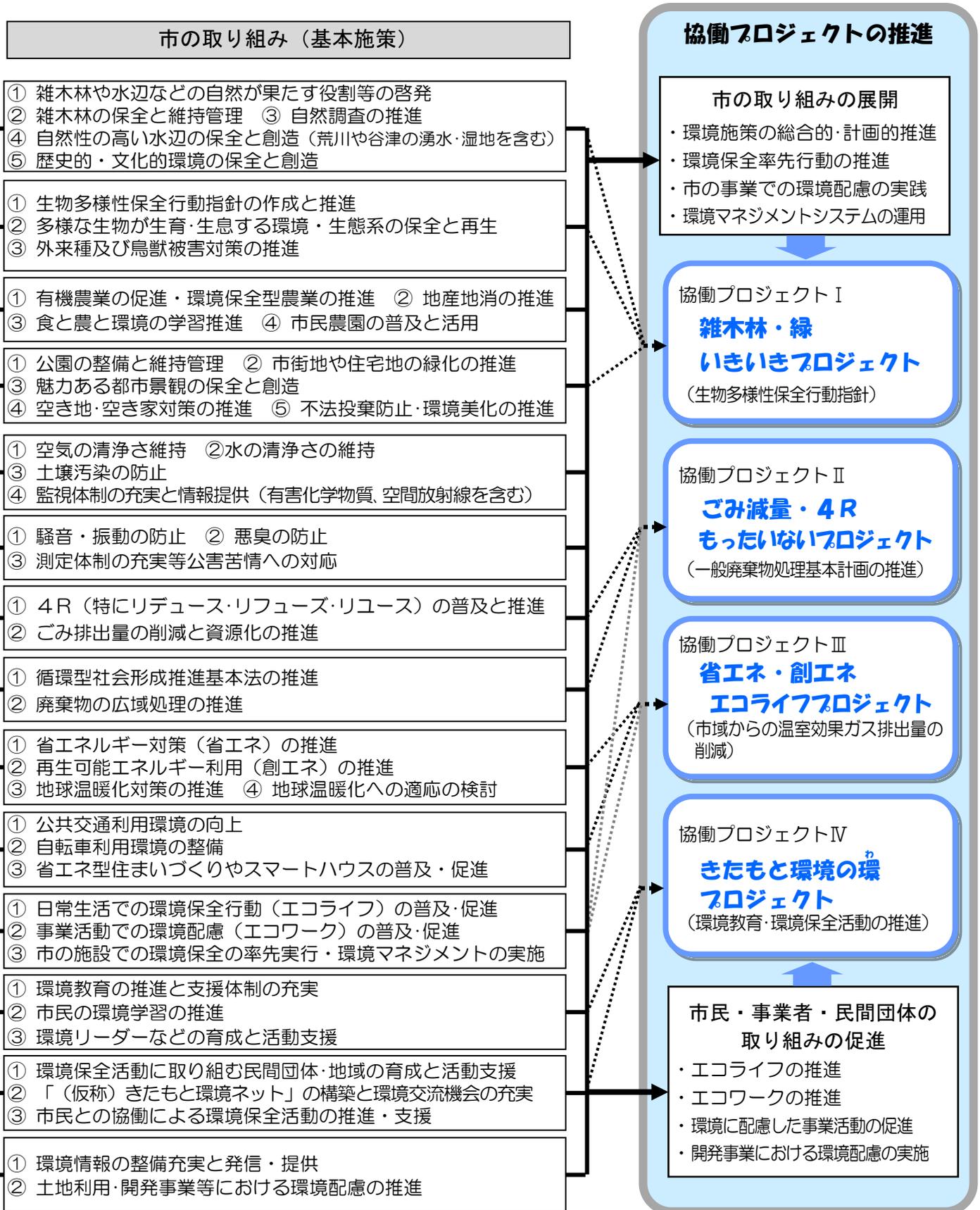


第3章 計画で進めていくこと

1 望ましい環境像に向けた取り組み（取り組みの体系）



望ましい環境像及び3つの長期的な目標の実現に向けて、本計画で取り組んでいく施策及び重点的取り組み、協働プロジェクトなどの全体的像を示すと次のようになります。



2 重点的取り組み（協働プロジェクト）の展開

雑木林・緑を軸としてみた
協働プロジェクトの関係



雑木林・緑の環境

- 光合成・大気浄化等
 - ・CO₂吸収
 - ・きれいな酸素の供給
- 気候調節の場
 - ・蒸発散による気温調整
 - ・日照や風の緩和
- 四季の変化
- 動植物の生息生育環境（食物連鎖）の場
 - ・多様な生物の生息環境
 - ・落葉・枯枝等の供給
 - ・土壌生物による有機物の分解
 - ・栄養塩の循環
- 土壌の保全
 - ・土壌の生成
 - ・土壌の流出防止
- 斜面の崩壊防止
- 水源かん養・水資源
 - ・雨水の保水、流出抑制
 - ・蒸発散
 - ・地下浸透
 - ・湧水や地下水の供給

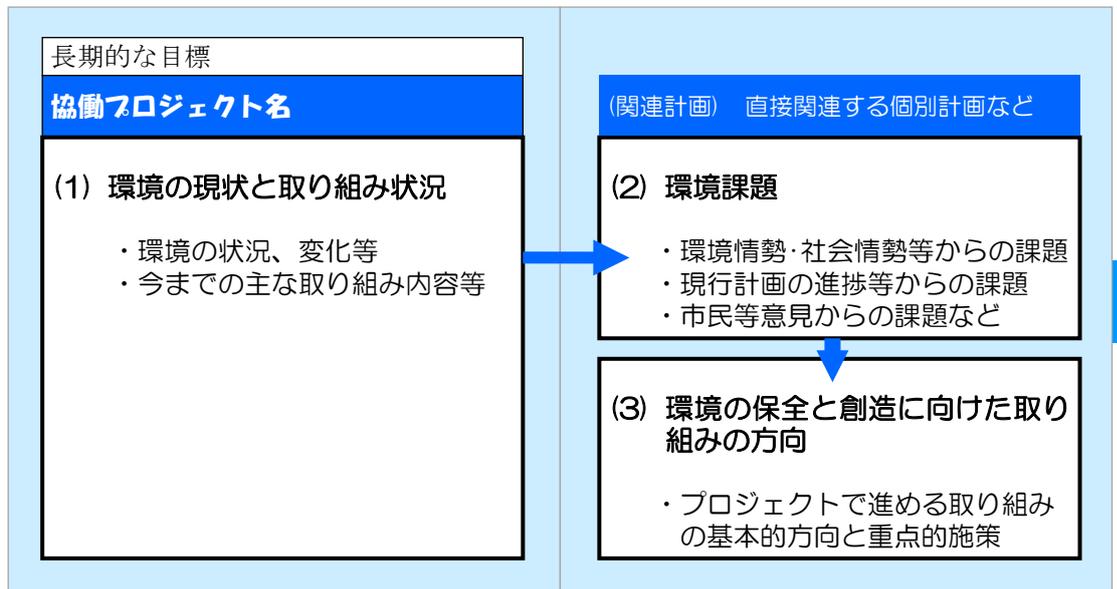
雑木林の役割

- 良好な生態系の維持
 - ・在来種や希少動植物の生息・生育環境の場
- 生態系サービスの提供
- 遺伝子の保存
- 四季の変化に富んだ身近にふれあえる自然
 - ・うるおいとやすらぎ
 - ・子どもの体験や遊び
- 農地への有機肥料の供給
- 市街地・住宅地の気温調節
 - ・ヒートアイランドの緩和
- エネルギー資源の提供
 - ・昔、薪炭林として活用
 - ・バイオマス資源の提供
- オープンスペース
- 防災・減災
 - ・雨水流出防止（洪水調節）
 - ・土ほこりの飛散防止
 - ・土砂災害防止

変化していますが、新たな役割や価値もつくり出しています。
雑木林や・緑の役割は、社会構造や生活様式の変化に伴い、

協働プロジェクトの構成

本計画書での
記載内容など



本計画では、計画の期間内において、市・市民・事業者・民間団体が協働して、重点的に取り組んでいく内容を「協働プロジェクト」として示しています。

各プロジェクトとも密接に関係していますので、連携を図り効果的に進めていきます。

安全で快適に暮らせる持続可能なまちづくりの基盤となっています。
 私たちの暮らしや地域にさまざまな恵みやうるおいをもたらすなど、
 雑木林や緑などの自然を賢く保全・活用し、守り育てていくことが大切です。

